

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-63402

(P2002-63402A)

(43) 公開日 平成14年2月28日 (2002.2.28)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 4	G 0 6 F 17/60	3 1 4 5 B 0 4 9
	3 3 2		3 3 2 5 B 0 5 5
	4 2 6		4 2 6

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2000-249491 (P2000-249491)

(22) 出願日 平成12年8月21日 (2000.8.21)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 尾形 文夫

茨城県日立市国分町一丁目1番1号 株式

会社日立製作所電機システム事業部内

(74) 代理人 100074631

弁理士 高田 幸彦 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 CC05 CC36 GG04 GG07

5B055 CB09

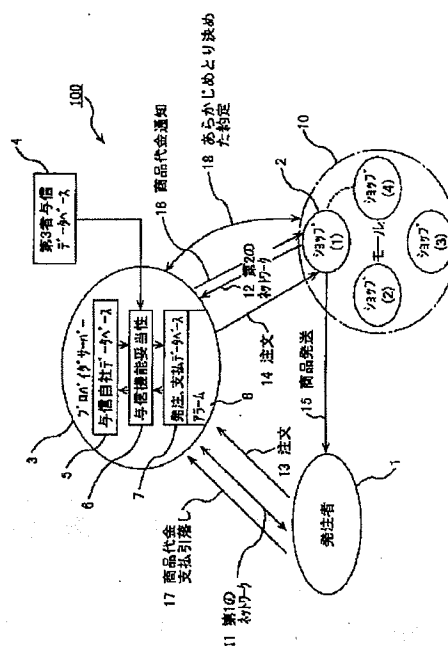
(54) 【発明の名称】 ネットワークを利用した商品取引および料金支払システム

(57) 【要約】

【課題】 地域あるいは業種別 (専門別) にモール組織を構成し、モールに加盟する加盟ショップの活性化を図り、発注者にも恩恵が与えられるようにしたネットワークを利用した商品取引および料金支払システムを提供する。

【解決手段】 発注者がネットワークを介してプロバイダサーバーに商品の注文情報を送信すると、発注量上限値以内にあると判断されるときにプロバイダサーバー3からネットワークを介してモールの加盟ショップ2に商品注文情報を送信し、注文を受けた加盟ショップは、商品を発注者に発送した旨の商品発送情報と支払請求情報とをネットワークを介してプロバイダサーバーに送信し、プロバイダサーバーは、当該加盟ショップから送信された請求情報に基づく所定日数または月毎の統計値を求め、該統計値から予め定められた割合を差し引いて商品代金の支払通知を当該加盟ショップに行うと共に、発注者の取引する金融機関の発注者口座番号に当該商品代金の支払引落としを行う。

図 1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 地域あるいは業種別に構成されるモールに加盟する複数の加盟ショップと、プロバイダのプロバイダサーバーと、プロバイダサーバーと発注者とを結びおよびプロバイダサーバーと各加盟ショップとを結ぶネットワークとを有し、

プロバイダサーバーは、加盟ショップがモールの加盟店である加盟情報と該加盟情報に対する優先的商品発注情報と、および発注者に対する発注者発注量上限値情報とを保存し、

発注者がネットワークを介してプロバイダサーバーに商品の注文情報を送信すると、前記発注量上限値以内であると判断されるときにプロバイダサーバーからネットワークを介してモールの加盟ショップに商品注文情報を送信し、

注文を受けた加盟ショップは、商品を発注者に発送した旨の商品発送情報と支払請求情報とをネットワークを介してプロバイダサーバーに送信し、

プロバイダサーバーは、当該加盟ショップから送信された請求情報に基づく所定日数または月毎の統計値を求め、該統計値から予め定められた割合を差し引いて商品代金の支払通知を当該加盟ショップに行うと共に、発注者の取引する金融機関の発注者口座番号に当該商品代金の支払引落し手続を行うことを特徴とするネットワークを利用した商品取引および料金支払システム。

【請求項 2】 請求項 1 において、ネットワークは、プロバイダサーバーと発注者とを結ぶ第 1 のネットワークおよびプロバイダサーバーと各加盟ショップとを結ぶ第 2 のネットワークからなることを特徴とするネットワークを利用した商品取引および料金支払システム。

【請求項 3】 請求項 1 において、プロバイダサーバーは、発注者口座番号に当該商品代金の支払引落し手続を行うときに、予め定められた割合を差し引いて支払引落し手続を行うことを特徴とするネットワークを利用した商品の取引および料金支払システム。

【請求項 4】 地域あるいは業種別に構成されるモールに加盟する複数の加盟ショップと、プロバイダのプロバイダサーバーと、プロバイダサーバーと発注者とを結びおよびプロバイダサーバーと各加盟ショップとを結ぶネットワークとを使用した商品取引および料金支払方法において、プロバイダサーバーに加盟ショップがモールの加盟店である加盟情報と該加盟情報に対する優先的商品発注情報と、および発注者に対する発注者発注量上限値情報とを保存し、

発注者がネットワークを介してプロバイダサーバーに商品の注文情報を送信すると、前記発注量上限値以内に

ると判断されるときにプロバイダサーバーからネットワークを介してモールの加盟ショップに商品注文情報を送信し、

注文を受けた加盟ショップは、商品を発注者に発送した旨の商品発送情報と支払請求情報とをネットワークを介してプロバイダサーバーに送信し、

プロバイダサーバーは、当該加盟ショップから送信された請求情報に基づく所定日数または月毎の統計値を求め、該統計値から予め定められた割合を差し引いて商品代金の支払通知を当該加盟ショップに行うと共に、発注者の取引する金融機関の発注者口座番号に当該商品代金の支払引落し手続を行うことを特徴とするネットワークを利用した商品取引および料金支払方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ネットワークを利用した商品取引および料金支払システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 特開平 9-282367 号公報には、会員に対して購入斡旋を行う購入斡旋業者と、加盟販売店と、会員が口座を有する金融機関とを備え、購入斡旋業者はネットワークを通じて会員に ID 番号を連絡し、会員がネットワークを通じて ID 番号により加盟販売店に商品の購入を申し込むと、加盟販売店からその連絡を受けた購入斡旋業者はネットワークを通じて会員に購入の意思を確認した後に加盟販売店に販売承認を通知し、加盟販売店は会員に商品を提供し、金融機関は購入斡旋業者から立替え払いのデータを受信して加盟販売店の口座に立替え払いをすると共に購入斡旋業者からの引落としデータに基づいて会員の口座から購入斡旋業者の口座へ購入代金を引落とすネットワークを利用した購入斡旋システムが記載されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、地域あるいは業種別（専門別）にモール組織を構成し、モールに加盟する加盟ショップの活性化を図り、プロバイダにメリットがあり、かつ発注者にも恩恵が与えられるようにしたネットワークを利用した商品取引および料金支払システムを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 従来インターネットのプロバイダに接続する際には接続時間に応じたまたは月間の接続費用を支払う必要があった。これはプロバイダ業務とショッピングモールが分離され別々に運用されていたからである。

【0005】 本発明は、プロバイダにクライアントユーザ（発注者 1）が金融機関の支払い口座を登録しておけば買い物の決済をプロバイダ自身がやってくれるものでいちいちショッピングモールの加盟店と発注者が直接行うことがなく、メリットを生ぜしめるビジネス形態を提

案する。

【0006】本発明は、具体的には次に掲げる装置を提供する。

【0007】本発明は、地域あるいは業種別に構成されるモールに加盟する複数の加盟ショップと、プロバイダのプロバイダサーバーと、プロバイダサーバーと発注者とを結びおよびプロバイダサーバーと各加盟ショップとを結ぶネットワークとを有し、プロバイダサーバーは、加盟ショップがモールの加盟店である加盟情報と該加盟情報に対する優先的商品発注情報と、および発注者に対する発注者発注量上限値情報とを保存し、発注者がネットワークを介してプロバイダサーバーに商品の注文情報を送信すると、前記発注量上限値以内にあると判断されるときにプロバイダサーバーからネットワークを介してモールの加盟ショップに商品注文情報を送信し、注文を受けた加盟ショップは、商品を発注者に発送した旨の商品発送情報と支払請求情報とをネットワークを介してプロバイダサーバーに送信し、プロバイダサーバーは、当該加盟ショップから送信された請求情報に基づく所定日数または月毎の統計値を求め、該統計値から予め定められた割合を差し引いて商品代金の支払通知を当該加盟ショップに行うと共に、発注者の取引する金融機関の発注者口座番号に当該商品代金の支払引落としを行うことを特徴とするネットワークを利用した商品取引および料金支払システムを提供する。

【0008】本発明は、更にネットワークは、プロバイダサーバーと発注者とを結ぶ第1のネットワークおよびプロバイダサーバーと各加盟ショップとを結ぶ第2のネットワークからなることを特徴とするネットワークを利用した商品取引および料金支払システムを提供する。

【0009】本発明は、更にプロバイダサーバーは、発注者口座番号に当該商品代金の支払引落としを行うときに、予め定められた割合を差し引いて支払引落としを行うことを特徴とするネットワークを利用した商品の取引および料金支払システムを提供する。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明にかかる実施例を図面に基いて説明する。

【0011】図1は、本発明の実施例の概略を示すブロック図である。

【0012】図において、ネットワークを利用した商品取引および料金支払システム100は、発注者1、モール10に加盟するショップ(1)、(2)、(3)、(4)…(加盟ショップという。)2、プロバイダのプロバイダサーバー3、第3者と信データベース4を有する。モール10は、地域あるいは業種別に複数のショップが加盟して組織される。

【0013】プロバイダサーバー3は、与信自社データベース5からの情報と第3者と信データベース4から送信された情報に基づいて与信機能妥当性6を判断する。

【0014】プロバイダサーバー3と、発注者1との間は、第一のネットワーク11によって、プロバイダサーバー3と加盟ショップ2との間は、第二のネットワーク12によって結合されている。第一のネットワーク11と第二のネットワーク12を総称してネットワークという。

【0015】第一のネットワークを介して発注者1からプロバイダサーバーに商品の注文13がなされる。プロバイダサーバーは、発注者に対して、発注者発注上限値情報を記憶、保存する。上限値はある期間内における発注量統計、取引年月、支払状況などを考慮してプロバイダが決め、プロバイダサーバー3に取り込む。従って、取引の状況に応じて上限値は変更され、プロバイダサーバー3に取り込まれる。更に、プロバイダサーバーは、加盟ショップがモールの加盟店である加盟情報と該加盟情報に対する優先的商品発注情報を記録・保存する。モールが複数あることが普通であるので、モール間においても優先順位を与えることができる。注文があると、発注、支払データベース7に取り込まれる。注文額が前述した上限額を越えると与信機能妥当性6による判断によってアラーム手段8が出され、発注者にフィードバックされる。

【0016】上限値内にある注文は、第二のネットワーク12を介して該当の適当なる加盟ショップ2に注文14が出される。

【0017】加盟店2は、発注者1に商品を発送15し、第二のネットワークを介して商品を発注者に発送した旨の商品発送情報と支払請求情報とをプロバイダサーバー3に送信する。

【0018】プロバイダとモール10の間では予め、優先的商品を行うことと、これに伴って商品代金についてある割合で割引いて支払がなされることが取り決められる。この取り決めに基づいて、プロバイダサーバー3は、加盟ショップから送信された請求情報に基づく所定日数(多くは1日～月末)または月毎の統計値を求め、該統計値から予め定められた割合(額)を差し引いて商品代金の支払通知16を加盟ショップ2に行う。これと共に、発注者の取引する金融機関の発注者口座番号に当該商品代金の支払引落とし17のための手続を行う。

【0019】プロバイダサーバー3は、発注者口座番号に商品代金の支払い引落とし手続を行うときに、予め定められた割合を差し引いて支払う恩典を与えることができる。また、この恩典は、インターネットのプロバイダに接続するに要した接続費用を無料にすることを含めることができる。

【0020】このように必要な経費は売り上げの一部を該プロバイダが手数料として受け取るものでこれにてプロバイダ費用を賄うものである。買い物を発注者が受け取った旨連絡があると支払い業務に移行し該プロバイダが支払いを代行するとともにクライアントに請求書を発

行し予め登録してあった銀行口座等から引き落としするものである。

【0021】但し発注を可能とするには発注者の十分な信用が必要である。そのためプロバイダサーバー3には予め第3者信用調査機関のデータベース4及びあるいはこれまでの自社取引等のデータベース5により自動的に与信の可否を判断する推論エンジンである与信機能妥当性6の判断により可能と判断した場合にかぎり取引を続行する機能を有するものとする。

【0022】発注者は当該プロバイダにアクセスした場合には例えば図2に示すような初期画面に入り当月分の発注一覧あるいは支払い予定一覧の発注、支払データベースを示す画面7を見ることができる。

【0023】また発注額が与信限度を超える場合には警告手段8から警告が発せられた注意を促すものとする。また各ショップにはいるためには例えば図2の上部9のごとく選択項目をクリックすることによりショッピングモードに入るものとする。

【0024】また各モール一覧10には各々のショップの特徴が示されており自分にあった条件のショップにて買い物ができる。あるいはモール毎に統一した販売促進セール等の活動がネット上で可能とするものである。

【0025】またプロバイダ扱いの各ショップに対する買い物総額は各発注者の額を集計すると相当多額になることが予想される。その場合には当該プロバイダはショップに値引き交渉して発注者あるいは当該プロバイダに値引き額を還元することができる。また発注の確立を高くするためにインターネットテレビ電話機能を設けたかかも対面販売しているかのごとく機能させ販売確立を高くすることも当該ビジネス形態に含まれる。またテレビ電話可能なサインを初期画面の当該モールに絵文字等で案内することも当該ビジネスに含まれる。

【0026】更にはショップの経営支援のため当該プロバイダが取扱高等に応じて資金の融資等を行うことも当該ビジネスに含まれる。

【0027】かくして当該プロバイダを利用する発注者及びショップには多大のメリットが享受でき事業が発展することが期待できる。

【0028】また本システムを利用して銀行間等金融機関間の振り込み業務も可能である。送金費用は送金元の銀行と該プロバイダと予め決められた料率にて受け取るものとする。

【0029】図3は、ステップを示すフロー図である。

【0030】プロバイダサーバーに、加盟ショップがモールの加盟店である加盟情報と該加盟情報に対する優先

的商品発注情報と、および発注者に対する発注者発注量上限値情報とを保存する(S1)。

【0031】発注者がネットワークを介してプロバイダサーバーに商品の注文情報を送信(S2)すると、前記発注量上限値以内にあると判断されるときにプロバイダサーバーからネットワークを介してモールの加盟ショップに商品注文情報を送信する(S3)。

【0032】注文を受けた加盟ショップは、商品を発注者に発送した旨の商品発送情報と支払請求情報とをネットワークを介してプロバイダサーバーに送信する(S4)。

【0033】プロバイダサーバーは、当該加盟ショップから送信された請求情報に基づく所定日数または月毎の統計値(S5)を求め、該統計値から予め定められた割合を差し引いて商品代金の支払通知を当該加盟ショップに行う(S6)と共に、発注者の取引する金融機関の発注者口座番号に当該商品代金の支払引落し手続を行うことになる。

【0034】このようにしてネットワークを利用した商品取引および料金支払方法が形成される。

【0035】

【発明の効果】クライアントは通信費を除いて無料にてインターネットを利用できかつ在宅のままでショッピングが楽しめるといった利便性がある。また支払いも自動的に行われるので手を煩わせることもない。使用額についても画面にて確認できるので過剰な使用もさけることができる。また購入代金支払いのためのクレジットカード番号等ショップ毎に通知していたものが不要で安全性に関してもより確実なものとなることができる。各ショップにとっては安全で確実な支払いをうけることができるし統一した販売促進等の活動により売り上げも伸すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理を示すブロック図

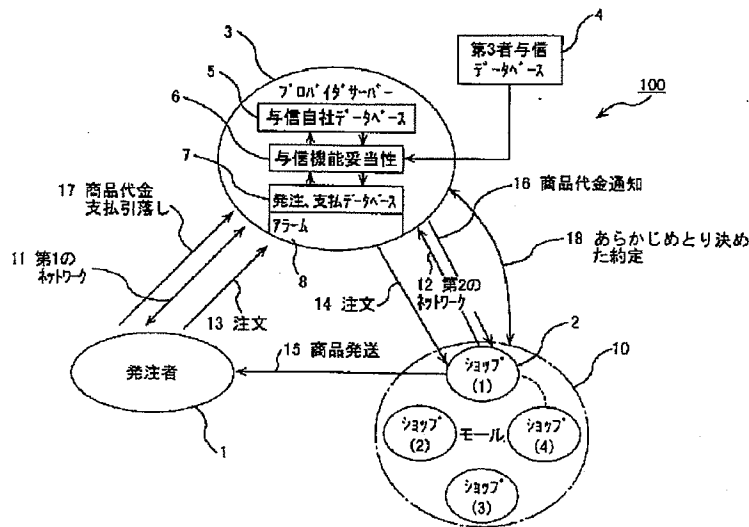
【図2】プロバイダ初期画面例

【図3】フローチャート図

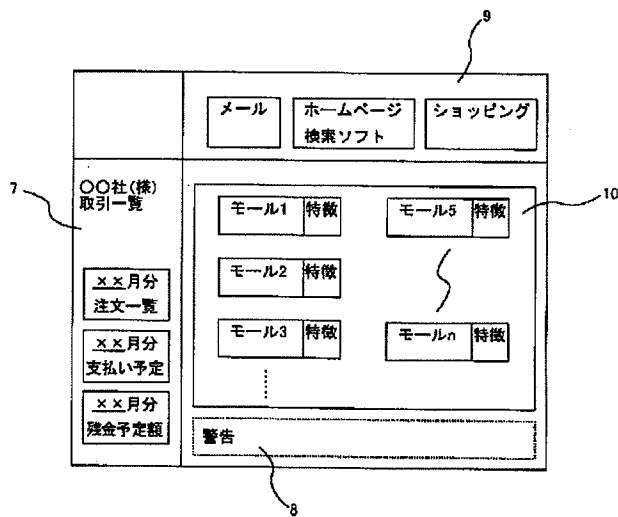
【符号の説明】

1…発注者、2…加盟ショップ、3…プロバイダサーバー、4…第3者与信データベース、5…与信自社データベース、6…与信機能妥当性、7…発注、支払データベースを示す画面、8…警告手段、10…モール、11…第一のネットワーク、12…第二のネットワーク、13、14…注文、15…商品発送、16…商品代金通知、17…商品代金支払引落し。

【図1】

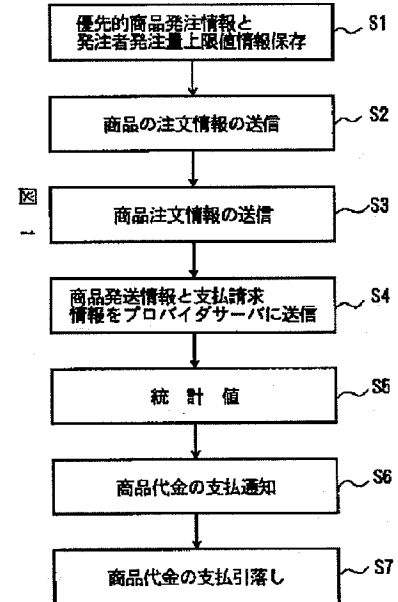


【図2】



【図3】

図 3



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-063402
(43)Date of publication of application : 28.02.2002

(51)Int.Cl. G06F 17/60

(21)Application number : 2000-249491 (71)Applicant : HITACHI LTD
(22)Date of filing : 21.08.2000 (72)Inventor : OGATA FUMIO

(54) MERCHANDISE TRANSACTION AND CHARGE PAYMENT SYSTEM UTILIZING NETWORK

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a merchandise transaction and charge payment system utilizing a network for constituting mall organizations for respective regions or business categories (specialties), activating member shops joining a mall and giving a privilege even to an ordering person.

SOLUTION: When the ordering person transmits the order information of merchandise through the network to a provider server, the merchandise order information is transmitted from the provider server 3 through the network to the member shop 2 of the mall at the time of judging that it is within an ordering amount upper limit value. The member shop which receives an order transmits merchandise shipping information for indicating that the merchandise is shipped off to the ordering person and payment demand information through the network to the provider server. The provider server obtains a statistic value for every prescribed number of dates or month based on the demand information transmitted from the member shop, subtracts a predetermined rate from the statistic value, reports the payment of a merchandise charge to the member shop and performs the payment deduction procedure of the merchandise charge to the ordering person account number of a financial institution with which the ordering person has his account.

